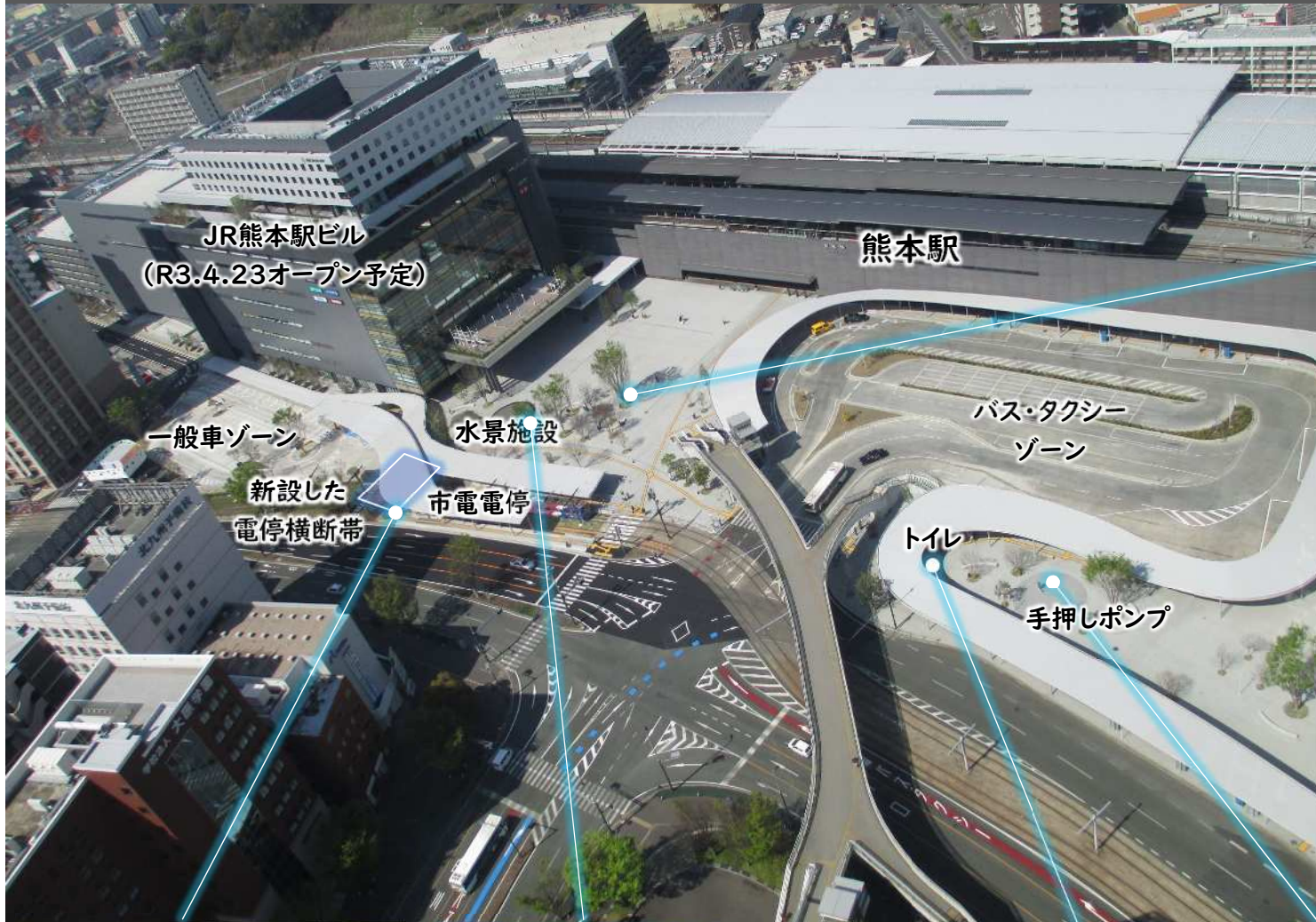


今後の熊本駅周辺のまちづくりについて

目次

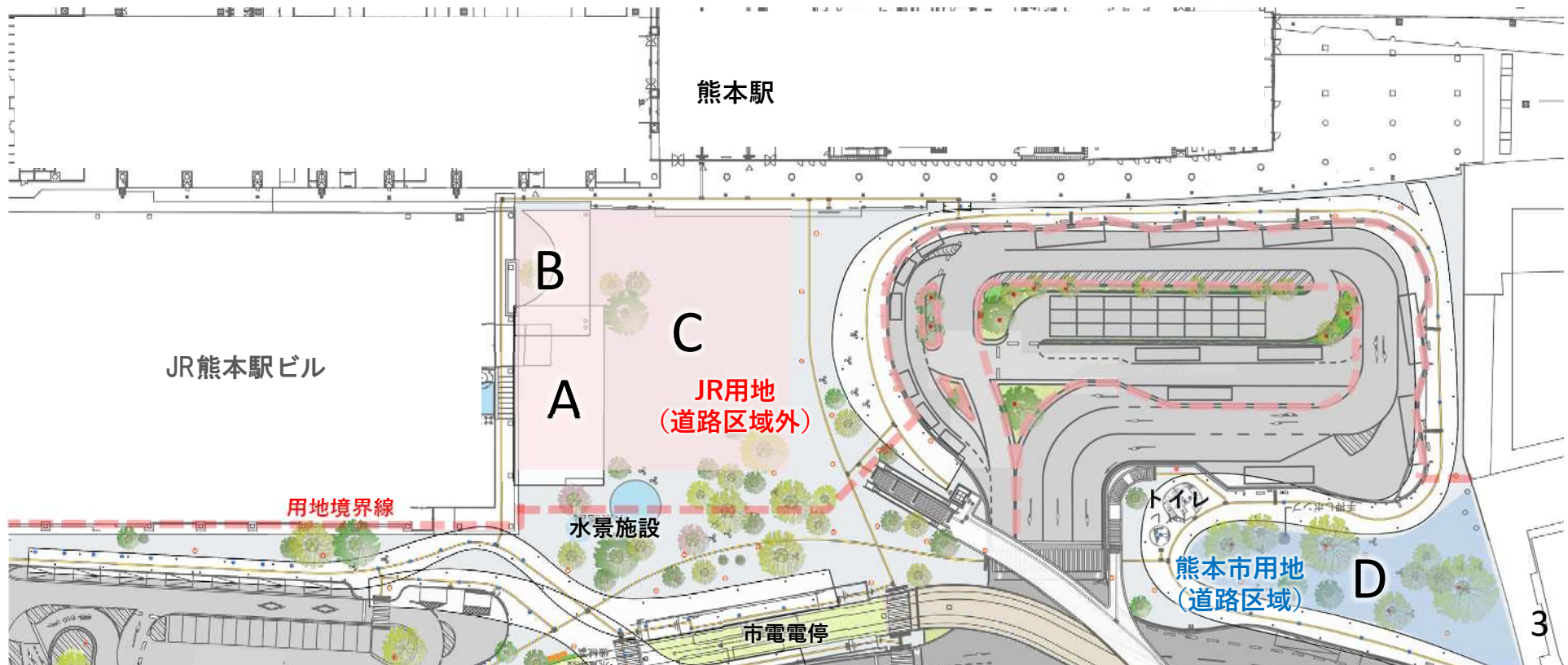
1. 白川口駅前広場の施設について
2. 広場内の管理・利活用について
3. 広場使用のルールについて
4. 熊本駅周辺地域エリア防災計画について
5. 今後の熊本駅周辺のまちづくりについて

1.白川口駅前広場の施設について



2. 広場内の管理・利活用について

- ◇ 市とJRは「熊本駅（白川口・新幹線口）駅前広場等の管理運営に関する協定」を締結し、駅前広場を共同で管理する。
- ◇ JRは広場全域の日常管理（清掃・散水）を行う。
市はトイレの清掃、水景施設の管理、樹木の手入れ等を行う。
- ◇ イベント等の利用については、A～Dの区域を「賑わい交流空間」と位置づけ、その範囲内でJRが運用（使用許可及び承認等）を行う。
 - ※オープンスペース（A～C）はJR用地であり、多様な主体が広く利用できる。
 - ※区域ごとに使用料を設定しているが、官公庁や地元自治協議会などの主催イベントは、減免を想定。



2. 広場内の管理・利活用について

アミュひろばについて

About

JR・市電・バスと公共交通機関が集まるターミナル駅である熊本駅に立地するイベントスペース。

訪客に優れた抜粋の立地に加え、屋根が付いた全天候対応可能なスペースとオープンスペースを合わせて最大3,000㎡の広さを持つアミュひろばは、PRイベントや商品告知など多様なプロモーション活動にご利用いただけます。

Point 1

ターミナル駅であるJR熊本駅とアミュプラザくまもとに直結する好立地

Point 2

全天候対応型のイベントスペース
※オープンスペースを除く

Point 3

熊本の玄関口として県内外からの集客が見込めるさまざまなアクセス

アミュひろばを行き交う延べ人数

約39,000人/日

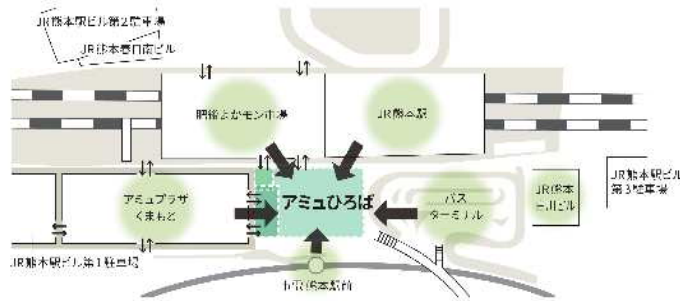
JR熊本駅 乗降者数 **約31,000人/日** + 熊本市電乗降者数 (熊本駅前) **約8,000人/日**

※平日の9時～17時について、乗降人員を概算する算出値にて
※乗降人員の立上りとして算出されています。

熊本市

人口 738,991人 1月1日現在
世帯数 331,023世帯(2025年12月現在)
2019年単に財政力指数 60,140,000人

多くの人が行き交う場所でプロモーション活動が可能



熊本ICより
約30分

JR水前寺駅より
約12分

市電 幸島町駅より
約12分

熊本駅前
バスターミナルより
約8分

JR熊本駅より
最速32分

阿蘇くまもと空港より
約60分

駅直結で各地からの便利なアクセス

イベントスペース

Website: www.amuhiroba.com



アミュひろば 利用条件

● 2025年4月1日より変更された利用条件となります。

使用スペース	使用料金 (税込)		使用可能面積	使用可能時間
	平日	土日祝		
A 大屋根エリア	132,000円	264,000円	約530㎡	9:00 21:00
B 中屋根エリア	55,000円	88,000円	約300㎡	
C オープンエリア*	77,000円	110,000円	約2,220㎡	
A+B 大屋根+中屋根エリア	165,000円	330,000円	約780㎡	
A+B+C 大屋根+中屋根+オープンエリア	220,000円	385,000円	約3,000㎡	

*オープンエリアの各日毎月の場合、※使用条件については利用案内をご覧ください。

【会場設営・撤去料金】
本格的には本場アミュひろばの2階から最上階までの期間を「利用期間」として、お申込みいただきます。ただし、本通前日に設営撤去を行う場合は、時間外料金や立会い料金を別途申し添えます。
時間外：平日・土日祝1時間につき使用料金の10%相当

【初夜券料金】売上(税込)の9割
【施設料金】使用量に応じて請求(8円/140㎡(税込))
【上下水道料金】使用量に応じて200米(税込)まで(税込)
【立会い料】1人・1時間毎 4,400円(税込)
※当社は主催のイベント開催に際しては、別途会場準備料を請求いたします。

アミュひろばご利用案内 (JR熊本シティHPより) 抜粋 (R3年4月現在)

3. 広場使用のルールについて

- ◇ JRと協議し、駅前広場の良好な環境を保持し、安全な通行や使用ができるように秩序を守るため、以下の禁止項目を定めて、注意喚起や指導を行う予定。
- ◇ 注意喚起や指導の方法については、JR・警察と継続的に協議し、状況に応じて対応していくもの。

◆協定に基づく禁止項目

※細目協定により駅前広場区域内で適用予定

- (1) 通行の妨げとなる行為
- (2) 火気類の使用
- (3) 指定した場所以外の車両の乗入れ又は駐停車
- (4) 他人に危険や迷惑を及ぼす恐れのある行為
- (5) はり紙、ポスター、看板その他これらに類するものの掲示
- (6) 広場の施設を破損及び汚損する恐れのある行為
- (7) 商品や店舗の紹介、勧誘、それらに関するチラシや物品の配布
- (8) 球技、ローラースケート、スケートボードその他これらに類する行為
- (9) 自転車等の走行（指定箇所に適用）
- (10) 公益上又は広場の管理上支障があると管理者が認める行為

+ その他、無手続きの広場使用行為

※広場管理者の許可を得たものを除く

【禁止事項に関する注意喚起サイン】



【禁止項目を分かりやすいピクトで広場に掲示】

3. 広場使用のルールについて（自転車）

- ◇ 合計約2,675台分（JRの付置義務を含む）の駐輪場を整備し、**駅周辺一体を自転車放置禁止区域に指定**する。
- ◇ 駅前広場内の滞留者と通貨自転車の交錯を抑制するため、広場内の一部を「**乗入禁止エリア**」とする。
- ◇ 自転車複合サインや、制御サインを設置してルールの周知を促す。
- ◇ 啓発強化期間を定め、**市職員や案内人によるマナー啓発を実施**する。



【自転車用複合サイン】



- 放置自転車禁止標識
- (地図)
- 放置自転車禁止区域の明示
- 駐輪場配置図
- 自転車動線
- 乗入抑制エリアの明示

● :制御サイン (押しチャリ)



● :制御サイン (歩行者注意)



H1600 × W460



4. 熊本周辺地域エリア防災計画について

～前回の振り返り～

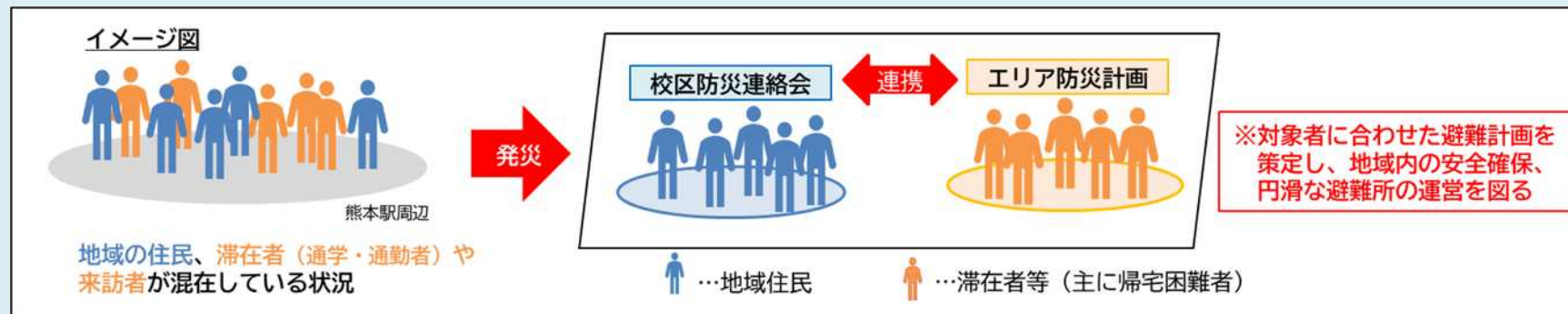
エリア防災計画

・・・地域の滞在者等（主に帰宅困難者）の安全確保と都市機能の継続を図ることを目的に策定

熊本駅周辺は**広域交通拠点**であることから、災害時に**帰宅困難者**が多数発生することが想定される

そのため、**校区防災連絡会**に加え、**エリア防災計画**が必要

災害時に迅速な避難所の開設・運営ができるよう、小学校区ごとに設置し、防災体制を強化することを目的に設置
⇒ 地域の特性に合わせた校区ごとの避難計画



4. 熊本周辺地域エリア防災計画について

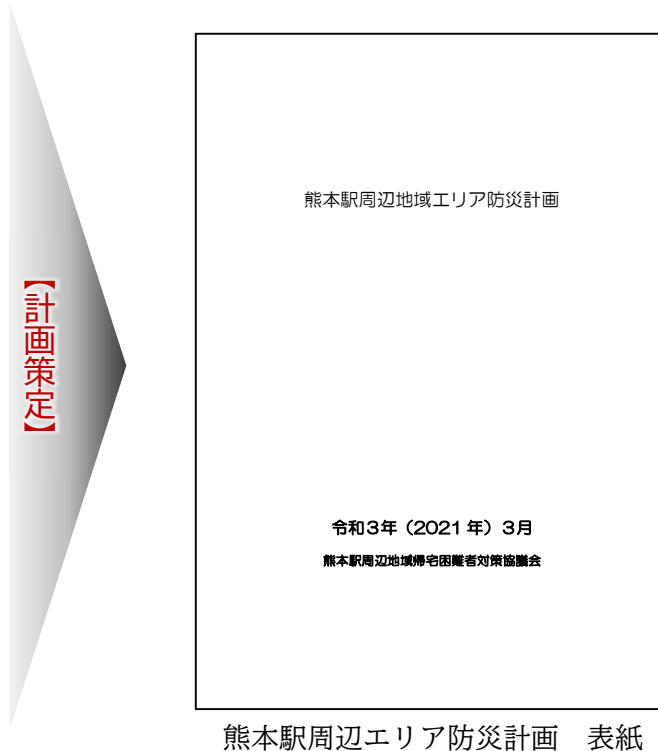
◆熊本駅周辺地域帰宅困難者対策協議会の結成

→3回の準備会（R2年度）を経て、R3.03.02に発足

構成	所 属	役 職	備考
駅 周 辺 企 業 等	学校法人 大原学園 熊本校 総務部	次長	
	医療法人社団清心会 春日クリニック	管理部長	
	学校法人 北九州予備校 熊本校	係長	
	株式会社 九州フィナンシャルグループ 人事・総務部	シニアマネージャー	
	九州旅客鉄道株式会社 熊本支社	課長	
	社会福祉法人青照会 グッドライフ熊本駅前	事務長	
	熊本朝日放送株式会社 総務部	部長代理	
	学校法人青照学舎 熊本駅前看護リハビリテーション学院	事務長	
	くまもと森都心プラザ 管理事務室	副室長	
	ザ・ニューホテル熊本	副総支配人	副会長
	株式会社 JR 熊本シティ	部長	会長
株式会社東横イン 熊本駅前	支配人		
合同庁舎	九州財務局 総務部	合同庁舎管理官	
福祉団体	熊本市社会福祉協議会 地域福祉推進課	課長	
地元自治 協議会	春日校区自治協議会	会長	
	白坪校区自治協議会	会長	
	古町校区自治協議会	会長	
国	国土交通省九州地方整備局 建設部都市整備課	都市再生係長	オブザーバー
県	熊本県知事公室危機管理防災課	課長	
警 察	熊本県熊本南警察署	警備課長	
消 防	熊本市消防局西消防署	警防課長	
熊本市	熊本市政策局 危機管理防災総室	副室長	
	熊本市西区役所 総務企画課	課長	
事務局	熊本市都市建設局 熊本駅周辺整備事務所	副所長	

熊本駅周辺地域帰宅困難者対策協議会名簿

◆エリア防災計画策定



4. 熊本周辺地域エリア防災計画について

第4章 今後の取組について

5. 支援物資・設備等の確保（都市再生特別措置法第19条の15項第2項第2号、第3号）

〔平常時〕

(1) 支援物資・設備について

熊本市はエリア防災計画について広報し、事前周知と支援物資・設備等の拡充を目指します。以下は、可能な範囲で帰宅困難者へ支援物資・設備の提供を行う施設です。

表1-1 支援物資・設備等の提供可能施設

番号	支援物資・設備に係る事項		管理に係る事項		
	名称	提供場所	管理主体	内容	実施期間
1	トイレ、支援物資	熊本駅	JR九州	待機管理	R3～
2	支援物資	熊本朝日放送	熊本朝日放送		
3	机、Wi-Fi、公衆電話、支援物資	ザ・ニューホテル熊本	ザ・ニューホテル熊本		
4	トイレ、Wi-Fi、パソコン	東横INN 熊本駅前	東横INN 熊本駅前		
5	非常用電源、Wi-Fi、支援物資	JIR 熊本シティ	JIR 熊本シティ		
6	非常用電源、受水タンク	熊本比内合同庁舎	九州財務局		
7	トイレ、手洗いホンプ、非常用電源、Wi-Fi	熊本駅白川口駅前広場	熊本市		
8	机、トイレ	九州フィナンシャルグループ本ビル（仮称）	九州フィナンシャルグループ		開業後

(2) その他の提供可能物について

以下の施設は可能な範囲で帰宅困難者へ支援を行う施設です。

表1-2 その他の提供可能施設

番号	その他の支援に係る事項		管理に係る事項	
	内容	提供場所	管理主体	実施期間
1	外国語を話せるスタッフの協力	東横INN 熊本駅前	東横INN 熊本駅前	R3～
2	体調不良者への医療提供、医療機関の紹介、定期乗等の案内	音口クリニック	音口クリニック	



図1-8 支援物資・設備等の協力可能施設

災害時にも円滑に帰宅困難者へ支援できる体制を整えるため、R3.03.26に熊本市と各者にて

災害協定を締結

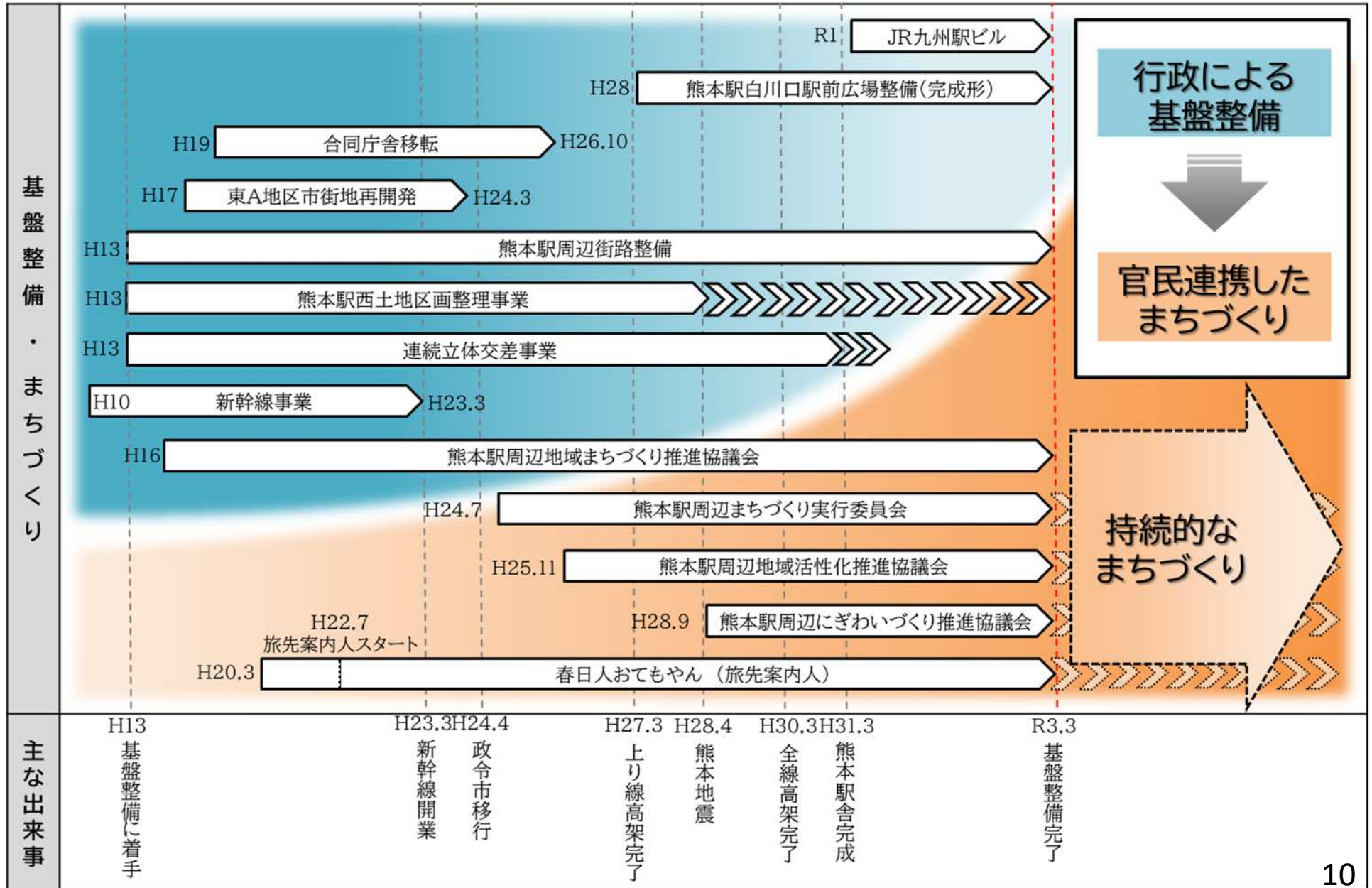
※(株)九州フィナンシャルグループは開業後協定締結予定



計画により実行性を持たせるため、R3年度は「帰宅困難者対応マニュアル」を策定し、避難施設の運営等の詳細や各者の動きについて取り決める。

5. 今後の熊本駅周辺のまちづくりについて

～前回資料の振り返り～



5. 今後の熊本駅周辺のまちづくりについて

～熊本駅周辺の各種団体の紹介～

◆熊本駅周辺まちづくり実行委員会

主体：熊本駅周辺の地元自治協議会及び周辺企業



H31.3 大凧揚げ



月一回の勉強会

◆熊本駅周辺地域活性化推進協議会

主体：約40社の周辺企業（2019年6月時点）



イルミネーション



花いっぱい運動

◆熊本駅周辺にぎわいづくり推進協議会

主体：KAB、JR九州、森都心、熊本市



駅前広場



堤防道路（石塘）

◆春日人（かすがびと）おてもやん

主体：10～80代のボランティア約60名（春日校区 他）



活動状況（観光案内）



指指しおてもツール

+

(R3発足) 熊本駅周辺地域帰宅困難者対策協議会

5. 今後の熊本駅周辺のまちづくりについて

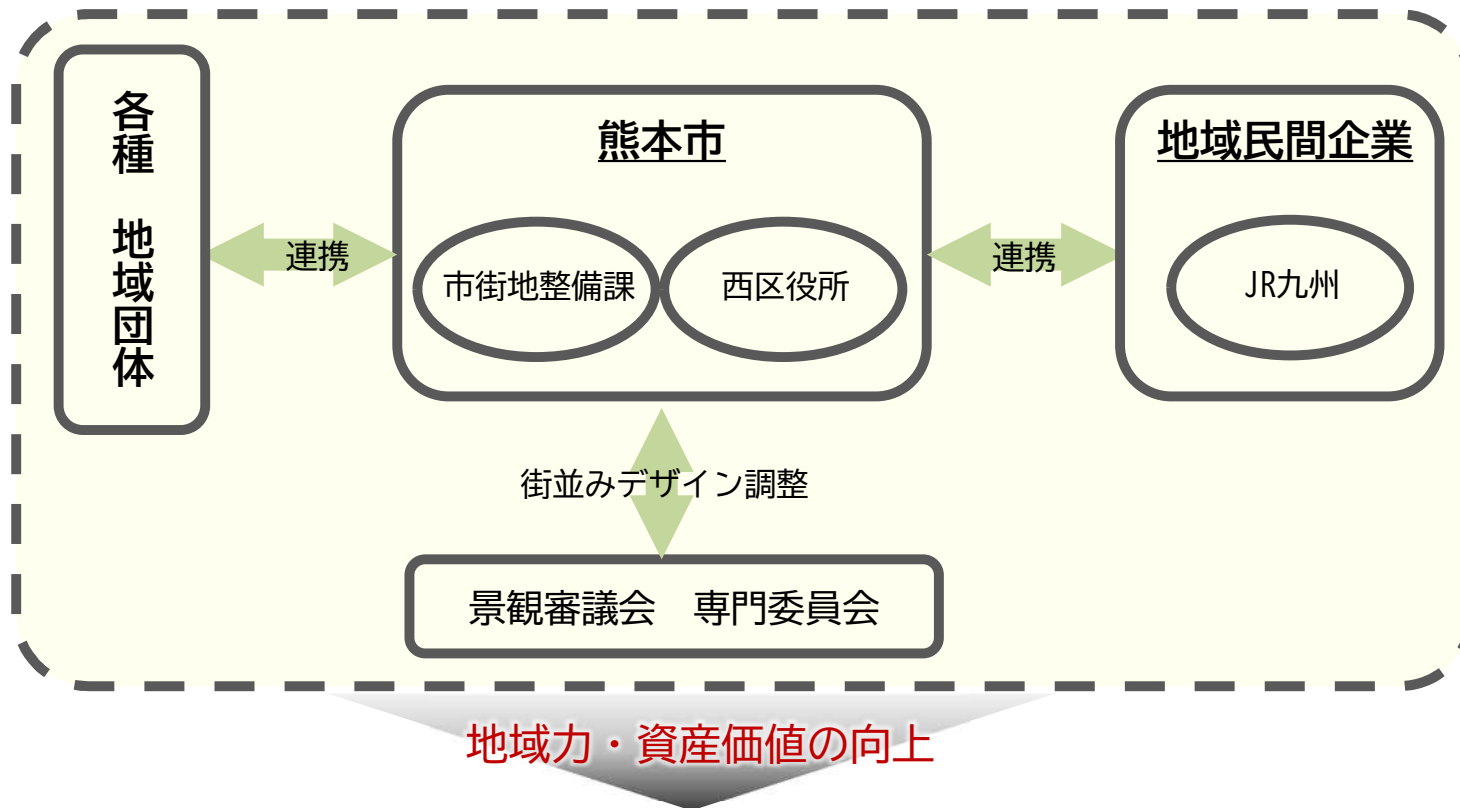
現在

熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会

→発足時の目的を達成

【継承】

今後



さらなる熊本駅周辺地域の魅力向上へ！